

令和3年度 学校評価報告書

4 段 階 評 価	A	ほぼできた	3.2 以上
	B	概ねできた	2.6～3.2未満
	C	やや不十分	2.0～2.6未満
	D	不 十 分	2.0 未 満

島根県立江津工業高等学校

※アンケート質問項目の評点化： 4:強くそう思う 3:そう思う 2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない ※少数第2位を四捨五入して表示。 ※()令和2年度

グランドデザイン				評価計画				自己評価				学校関係者評価		改善策
学校像		生徒像	重点目標	評価項目	達成のための方策		生徒	保護者	教職員	評価	結果（抜粋）と課題	コメント（抜粋）	評価	
地域産業を担うテクノロジージストの育成	・生徒自身が自らの成長を実感できる学校	・地域産業を担う人材を育成する学校	・自立・協働・創造の資質と人権感覚を持った人材の育成	人権感覚の涵養	他者との協働活動を育む指導	・進路ガイダンス等を含めた企業との連携。 ・実習の授業における協働作業の推進。 ・対話を取り入れた授業の推進。	3.1 (3.0)	3.2 (3.0)	3.2 (3.1)	B (B)	【結果】 ・実習における協働作業や各教科における対話を取り入れた授業を推進した。 ・ワールドカフェ方式の企業説明会や大学生との協働探究活動を実施した。 【課題】 ・多様な協働活動機会の提供。	・創意工夫された取組が推進されている。 ・学校は諸活動を通じ他者と協働し活動する生徒の力を育んでいる。 ・継続をお願いしたい。	A (A)	・キャリア・パスポートや授業評価アンケート等を用いて各授業における協働的な学びの状況を定量的に把握する。
					人権意識を育む指導	・警察と連携した情報端末の適切な利用に関する研修の実施。 ・いじめの早期発見、予防の推進。 ・人権教育講演会「メディアと上手につきあう」を開催。 ・人権教育に係るホームルーム活動を毎学期実施。	3.1 (3.1)	3.0 (2.9)	3.2 (3.1)	B (B)	【結果】 ・いじめのアンケートの活用を徹底し、早期発見や未然防止を推進した。 ・人権教育だよりをこれまでに7回発行し、生徒と保護者に周知した。 【課題】 ・SNSにおける生徒の様子の把握。	・情報モラルやセキュリティ等について警察の講座を取り入れるなどの取り組みが見られる。 ・LGBTQやハンセン病患者の方への偏見や差別をなくすことについての学びも大切と考える。 ・講演会やホームルーム活動により人権教育に正面から取り組んでいる。	A (B)	・いじめのアンケートの有効活用を引き続き徹底し、生徒の様子を把握する。 ・様々な偏見や差別についての学びの機会を提供する。
				学習力の向上	探究的な学びを育む指導	・地域ニーズを取り入れたものづくり活動の推進。	2.8 (2.8)	3.0 (3.0)	3.3 (2.9)	B (B)	【結果】 ・地域企業、子ども園、地域コミュニティ協議会、保育所連合保護者会、他多数の地域の皆様にご協力をいただき、地域課題に取り組む教育活動を実施した。 ・課題研究においてループリックを制作し、探究的な学びを実践した。 【課題】 ・地域連携活動と探究学習指導に係る組織的な取り組み。	・地元の各団体と協働の取り組みを推進している。 ・地域と共にと言う観点から地域の方々に学校に来ていただく取り組み回数が多くても良いと思う。 ・生徒が自発的に学べるように探究心の「深堀の場」を整備提供している。 ・継続をお願いしたい。	A (A)	・単元配列表等の作成により、地域連携活動や探究学習の実施状況を可視化することで、組織的な取り組みを実現する。 ・課題研究ループリックと観点別評価方法を継続的に検証し、授業改善を図る。
					主体的な学びを育む指導	・授業の机間支援と個人面談により、個々の理解度を確認。 ・試験期間中の放課後学習の実施。 ・生徒による授業評価の実施。 ・基礎学力テストによる基礎的な学力定着の推進。	3.0 (2.8)	2.9 (2.9)	2.8 (2.5)	B (B)	【結果】 ・建築CAD検定2級、第二種電気工事士、技能検定機械保全3級等の資格取得を通して、学習意欲を高めた。 ・生徒による授業評価やグランドデザインに係る評価を継続実施し、授業改善に取り組んだ。 ・学期末毎に保護者や生徒との面談週間を設定し、学習活動を支援した。 【課題】 ・生徒の家庭での学習時間。 ・授業におけるICTの効果的な活用と機器操作方法の習得。	・家庭で主体的な学習ができる環境が必要である。 ・各種認定試験及び検定等に向け生徒の基礎学力の定着に努力している。 ・評価を見ながら修正をして継続をお願いしたい。	A (B)	・家庭学習時間調査を定期的に実施し、生徒の家庭での学習状況を可視化する。 ・家庭学習を見通した授業づくりを実施する。 ・研究授業等により、授業における効果的なICT活用方法を教職員で共有する。
	・地域社会や保護者の期待に応えうる学校	・積極的に社会に貢献する人材を育成する学校	・5S教育を理解した人材の育成 ・KY能力をもつ人材の育成	社会人基礎力の向上	挨拶や身だしなみ、掃除などの指導	・身だしなみや挨拶の向上について、全教職員で取り組む。 ・ホームルーム活動や授業における挨拶やマナー指導の推進。 ・ゴミの分別の呼びかけを推進。 ・個人面談を活用して学校生活の振り返りを推進。 ・掃除時間に音楽を活用し、清掃の意識づけの推進。 ・部活動ゴミ出し日の設定。	3.4 (3.3)	3.2 (3.2)	3.3 (2.8)	A (B)	【結果】 ・毎朝の昇降口での挨拶指導を継続し、生徒の挨拶が良くなった。 ・身だしなみについて、担任と生徒指導部が連携をして取り組み、良好であった。 ・掃除時間に音楽を流すことにより、清掃の意識づけができた。 【課題】 ・身だしなみ指導における生徒、保護者、教職員間での意識の共有。	・積極的な取り組みが見られる。 ・現状も落ち着いていると思うが、ビジネスマナーとしての学びも講師を招き1年次から実施することで、生徒の気付きと改善につながると考える。 ・社会人の基本である挨拶を重んじ定着に向け教職員一体となった取り組みが行われている。	A (B)	・身だしなみ指導に関して、生徒、保護者、教職員、地域企業等間で、思いを共有する機会を検討する。
					時間の管理と計画的な行動を育む指導	・提出物を期限内に提出するための指導の推進。 ・朝礼開始5分前登校の実施（1年生）。 ・時間の厳守など基本的生活習慣の指導の推進（寮務部）。	3.0 (3.0)	3.1 (3.0)	3.0 (2.9)	B (B)	【結果】 ・課題やレポート等の期限内提出が守れるように教科担当と担任が連携して指導をした。 ・朝礼開始5分前登校を徹底した。来年度は朝学習にも取り組む予定である（1年生）。 ・基本的生活習慣確立と感染症対策の指導を徹底し、良好であった（寮）。 【課題】 ・生徒が提出物の期限を守れるような指導方法の工夫。	・5分前行動は社会の基本であり徹底されている。 ・朝礼開始5分前登校を1年生だけでなく全校生徒が取り組んでみてはどうか。 ・生徒に対して、社会人としてのルールである時間管理の体質化に向けた取り組みがなされている。 ・継続をお願いしたい。	B (B)	・提出物の期限が守れない生徒について、多方面からの支援を検討して実施する。
					危険予知能力と技術力・判断力が身につく指導	<年度当初における方策の設定なし>	3.2 (-)	3.0 (-)	3.0 (-)	B (-)	【結果】 ・実習の授業において危険予知について指導し、事故防止に努めた。 【課題】 ・実習の授業以外の座学や特別活動での危険予知に関する取り組み。	・安全が全てに優先するという意識付けを徹底していただきたい。 ・企業の方などに現場の実例の講義をしていただいてはどうか。 ・生徒に対して、作業に伴うリスクの洗い出しと危険予知の体質化に向けた取り組みがなされている。	B (B)	・様々な教科のシラバスや単元配列表に危険予知に関する指導項目を設け、危険予知に関する生徒への指導を徹底する。
				キャリア教育の充実	生徒の進路意識を高める指導	・ハローワーク、江津市役所、企業との連携による情報共有を推進。 ・キャリア・パスポート活動の推進。 ・進路の手引の作成と活用の推進。 ・進路希望調査を活用した支援の推進。 ・インターンシップの実施（2年生）。 ・企業見学の実施（全学年）。 ・個人面談を活用した進路相談の推進。	3.3 (3.2)	3.1 (3.1)	3.3 (3.1)	A (B)	【結果】 ・ハローワーク、江津市役所、企業、学科が連携を図り、地元就職率82％を達成した。 ・キャリア・パスポート活動により、進路に関する意識を高揚させた。 ・進路希望調査や面談を実施し、生徒、保護者、担任間で情報を共有した。 ・地元企業の情報を校内に常設で展示し、地元企業に対する理解を深めた。 ・県立大学やポリテクカレッジ島根との連携により、進学の情報を提供した。 【課題】 ・進学についての情報提供。	・様々な企業や市役所と連携した進路指導がなされている。 ・チャンスを無くさないためにも島根大学の学習内容や、就職についてなどの情報提供もしていただき、学びの意欲につなげて欲しい。 ・学校として生徒に対し就職や進学に向けた情報提供並びに進路指導が充実している。 ・継続をお願いしたい。	A (A)	・進学に関する情報提供の機会を増加させ、進学する生徒を支援する。 ・工業系の大学の見学や大学の先生によるオンライン模擬授業を実施し、学びや進路に対する生徒の意欲や意識を高める。
					進路実現に向けた指導	・資格試験や進路実現に向けた放課後等の学習の推進と生徒の自己チェック実施。 ・生徒の要望に基づく進路指導や教職員による支援の推進。 ・一般常識ドリル・テストの活用。 ・履歴書書き、面接対策、作文対策の各指導の実施。 ・資格試験の積極的紹介と高度資格挑戦への支援。	3.4 (3.2)	3.2 (3.3)	3.5 (3.4)	A (A)	【結果】 ・ホームルーム活動や放課後等の学習時間を活用し、学習に取り組む態度を養った。 ・履歴書書き、面接対策、作文対策の各指導を教職員で連携して実施した。 ・難易度の高い資格試験（第一種電気工事士、電気主任技術者、測量士補、2級建築施工管理技術検定、技能検定2級等）の受験支援を積極的に行った。 ・資格試験一覧表を作成し、生徒に紹介した。 【課題】 ・進学後に必要な学力に係る学習指導。	・難易度の高い資格を多くの生徒が取得している。 ・個々の生徒の能力向上を目的に、企業が望む「高みへの挑戦」とした熱心な教育指導がなされている。 ・修正しながら継続をお願いしたい。	A (A)	・四年制大学に進学する希望者に対して、個別課題を配布し、学習指導を実施する。
				学校の活性化	教育活動や部活動、地域とのかかわりの発信	・ごうこうNEWSの発行。 ・部活動加入の推進。 ・インターネットを活用した生徒・保護者向けアンケートの推進。 ・eメッセージの活用とホームページ閲覧数増加の取り組み推進。	3.0 (3.0)	3.1 (3.0)	3.4 (3.3)	B (B)	【結果】 ・中学生や地域の方向けに「ごうこうNEWS」、「アオハル52」を発行した。 ・ホームページを毎日更新して教育活動を紹介した。 ・1年生の部活動加入率が90％を越えた。 ・eメッセージの活用やインターネットによるアンケート実施を推進した。 【課題】 ・ホームページ掲載内容の魅力化。	・インターネット等を活用した広報が積極的に行われている。 ・ホームページ掲載を気付かない事が多い。メールなどに掲載情報提供の発信もプラスして頂けるとホームページを見る意識が保護者にもできると思う。 ・教育及び部活動等について各種メディアと様々な場面を活用した情報発信がなされている。	A (B)	・ホームページの記事に多様性を持たせる。
					生徒の安全を考えた環境整備の充実	・学校全体の設備把握と更新計画のための調査実施。 ・カーテンのクリーニング、交換計画の策定。 ・コース教室の机・椅子の更新計画の策定。 ・安全点検後の積極的な修繕の実施。	2.9 (3.0)	3.1 (3.0)	3.1 (3.0)	B (B)	【結果】 ・学校全体の設備を把握し、更新計画を立てる調査を実施した。 ・カーテンのクリーニングや交換、生徒用の机椅子の更新の計画を立てた。 ・安全点検後の積極的な修繕を行った。 【課題】 ・校内のバリアフリー化。	・課題に対して積極的な取り組みがなされている。 ・生徒昇降口と玄関が暗さを感じる。専門高校であることをいやす事はできないのだろうかと思う。 ・学習に相应しい環境整備と定期的な安全に対する点検や整備がなされている。 ・優先順位を確認して継続をお願いしたい。	A (B)	・優先順位を精査し、効果的な設備改善を継続する。